

妙法寺川公園の 桜保全活動へのご協力のお願い



妙法寺川公園では、地域の大切な景観である桜を、次の世代へつなぐために、保全活動に取り組んでいます。つきましては、東須磨小学校の皆さまと一緒に、桜を「育てる・守る」体験ができないかと考えています。ご協力いただけますと幸いです。

桜保全活動の必要性

水鉢（みずばち）とは

桜の植栽時には、水やりの水が根元にしっかり浸透するよう、「水鉢（みずばち）」と呼ばれる土の土手がつくられています。

水鉢は崩れてしまいます

しかし、水鉢は雨や踏圧などで時間の経過とともに崩れてしまうため、定期的に形を整える作業が必要です。

欠かせない保全活動です

水鉢を整え、適切に水やりを行うことは、桜を健全に育てるために欠かせない保全活動の一つです。



ご協力のお願い

東須磨小学校で取り組まれている桜観察の学習の中で、水鉢づくりや水やりなどの保全活動にもご協力いただけないでしょうか。

子どもたちが桜を「見る」だけでなく、「育てる・守る」体験を通して、地域の自然や公園への愛着を深める機会になればと願っています。

